

虹

ねやがわし 社会福祉協議会だより

No.174

令和8年2月1日発行

意見交換のすすめ方

⑤

みんなで力をあわせて
地域で取り組むことは？



【災害に備えた地域づくり】

本会では災害に強いまちづくりを進めるため、地域で要配慮者と近隣住民が「顔の見える関係」を築くことを目的とした座談会を開催しています。住民同士が日頃から気軽に話し合える関係をつくることで、災害時ににおける不安を少なくすることや速やかに支援につなげることを目指しています。

暮らしの中で感じている心配ごとや、災害時に必要な支援、地域でできる備えについて話し合いを行い、参加者からは「普段話す機会が少ないので良い時間になった」「近所に頼れる人がいると安心」といった声が寄せられました。

住民同士がつながり、支え合う地域づくりに向けた取り組みとして、今後も地域で実施していきます。

問 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

ねやがわし社会福祉協議会だより ◆ 虹 No.174



◆ねやがわし社会福祉協議会だより
◆虹 174号 令和8年2月1日発行

◆発行者/社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会
◆編集者/社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会
◆読者編集委員会

◆〒572-8566 寝屋川市池田西町24-5市立池の里市民交流センター内
◆電話 072-838-0400 ◆FAX 072-838-0166
◆業務日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時30分

登録ボランティアグループ連絡会

「もっと広がれボランティア」 フェスタ開催

寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンターに登録しているボランティア団体の活動を知ってもらい、ボランティアの輪をひろげるため開催します。楽しい催しを企画しています。ぜひ、観に来てください。



日時 2月22日(日)
12時30分から16時45分
場所 寝屋川市立エスポアール(錦町21-3)
※駐車場には限りがあります
内容 ボランティア活動舞台発表
体験、展示、交流会
参加申込 不要 **参加費** 無料

問 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

編集後記

れんこん畑

最近、金の価格が上昇しているというニュースをよく聞きます。これは、各国の債務残高の上昇による不安や、日本における円安の影響などが重なったためです。そんなニュースの中で、貨幣に関するコラムを見かけました。

日本最古の貨幣は、以前は「和同開珎」とされていましたが、今の教科書では「富本銭(ふほんせん)」という内容になっています。

富本銭は、1999年に奈良県の明日香村の遺跡で大量に発見されたことで最古と認定され、2000年代以降の教科書が変わりました。ちなみに、富本銭はテレビ番組で1000万円とされたこともあるようです。

これ以降、平安時代までの貨幣は「皇朝十二銭」といわれます。この時代の貨幣は、度重なる公共事業で財政が圧迫された結果、良質な銅の調達困難や、粗悪な金属を混ぜた貨幣の信用失墜、そして新貨発行による価値切り下げが頻発したことがわかっていきます。

なんだか今の世の中と似ています。貨幣の流通量を増やすとインフレが起きるのは歴史が物語っています。かつて「紙切れ」と問われたお札の信用は、今やスマホの中の数字の羅列に移っています。この現代の状況を、数百年後の人類はどう感じるのでしょうか。

(T・K生)

ホームページ



フェイスブック



Instagram



UD FONT 見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

寝屋川市社協 🔍 検索

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

赤い羽根共同募金

ねやがわし社会福祉協議会だより ◆ 虹 No.174

この機関誌は、共同募金配分金を活用して作成しています。印刷コストは1部6.71円(117,000部作成)

障害のある人が災害時に 安心して生活を送るために…

～共同募金テーマ型募金を実施中です～



実施に至った経緯

本募金活動は、今年度より始めた新たな取り組みです。

本会で令和3年度より「災害時に備えた地域丸ごと座談会」を開催して以来、地域住民から災害時の不安の声が多く寄せられてきました。なかでも、障害のある人からの避難生活上のコミュニケーションや移動に対する不安の声が多くありました。そこで、障害のある人が必要とする災害用資機材・備品の整備に向けて本募金を実施することとなりました。



実施期間

1月1日(木)～3月15日(日)



目標額

1,000,000円



募金方法

- ① PayPayによる募金
記載のQRコードから募金できます。
- ② ゆうちょ銀行の払込取扱票による募金
本募金にかかるチラシに添付しています。
チラシは市役所や本会事務局、市内のコミュニティセンターなどに配架しています。
- ③ 募金箱
市内の公共施設や商業施設、社会福祉施設に設置しています。



募金の使途

障害のある人が必要とする災害用資機材・備品(白杖、災害時用車イスなど)の購入に充てます。購入する具体的な資機材・備品につきましては、市や障害者団体協議会、障害福祉施設と協議し選定します。

☎ 総務課 ☎072-838-0400

募金へのご協力ありがとうございました

地域みなさんのあたたかいご支援、ご協力により、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動募金は終了いたしました。寄せられた募金は、地域福祉活動の発展のために市内の施設や団体において活用されます。

令和7年度募金実績(令和8年1月5日 現在)

赤い羽根共同募金 (令和7年10月実施)	歳末たすけあい運動募金 (令和7年12月実施)
合計11,461,042円	合計9,360,905円

☎ 総務課・生活支援課 ☎072-838-0400

令和
8年度

社会福祉協議会 会員募集のご案内

～様々なライフステージでつながる協力～

本会では市内で取り組む地域福祉活動へたくさんの市民に参加していただくことを目的に、2月25日から自治会の協力を得て社会福祉協議会会員募集を行います。

ご協力いただいた会員会費の40%はお住まいの校区福祉委員会が取り組む地域見守り活動などに、60%はボランティア活動の推進や福祉学習支援などといった市内全域の活動費として活用します。

令和7年度は、14,588,437円のご協力をいただきました。ありがとうございました。

～困ったときに“お互いさま”と言える
まちを、一緒につくりませんか～

会員募集は地域福祉活動を『みんなで支える』ためのしくみです。会費は地域福祉活動の基盤となる大切な財源となり、ひとり暮らしの方への見守りや、子どもたちの居場所づくり、地域のつながりを育む活動など、“このまちで暮らす人の安心”をそっと支えるために使われています。

会費に協力することは地域福祉活動に『参加』していることと同等の意味を持ちます。



あなたも「ふくしのまちづくりサポーター」になりませんか？



実施強化期間 2月25日(水)～3月25日(水)

- ・自治会の協力を得て募集しています。地区により募集方法が異なります。
- ・本会窓口でも受付を行っています。
- ・ご協力いただいた方へ、サポーターの証であるステッカーをお渡ししています。
- ・本取り組みは令和8年度に行う市内の地域福祉活動に活用します。

「会費がどう使われているか」「どの場面につながっているのか」イラストを載せたパンフレットを同時に配布しています。ぜひご覧ください!

☎ 地域福祉課 ☎072-838-0400

65歳からの 地域デビューのあゆみ

NO.3

こんにちは。地域支え合い推進員です。地域支え合い推進員は高齢者のみなさんの「あったらいいなあ」「やってみたいなあ」などの思いと一緒に考え、応援する職員です。

みなさんを応援するために、地域のさまざまな交流の場やちょっと役立つ情報を集めています。今回は、西圏域で開催している通いの場「おとなのぬり絵」の様子をお伝えします。

「おとなのぬり絵」 ～ぬり絵で脳も心もいきいき～

「おとなのぬり絵」はウエルシア薬局寝屋川池田東町店の交流スペース(ウエルカフェ)を活用して開催している通いの場です。

楽しみながら頭と手を使い、集中することは脳のトレーニングになり、ストレス解消効果もあります。



ウエルカフェが地域の活動の場として活用されており嬉しいです。ぬり絵に限らず、ウエルカフェを使って何か活動を始めたい方はご相談ください。

店長の堀さん

おとなのぬり絵	
日時	毎月第1第3金曜日 午前10時～11時
場所	ウエルシア薬局寝屋川池田東町店 (池田東町7-12)
参加費	無料(予約不要)



上手く塗ることよりも楽しむことを大切にしています。参加者どうし褒め合ったり、ぬり方を教え合ったりする様子が見られ素敵だと感じています。

～参加者の“声”を聴いてみました～

- ・とても楽しく、夢中になってしまいます。ぬり絵の日が楽しみです。
- ・集中しているうちに悩みが紛れ、気持ちが穏やかになります。
- ・ここに来て人と話すことで生活に張り合いができました。

もし興味があれば、“地域支え合い推進員”にご相談ください。みなさんも一緒に地域デビューしましょう。次回5月号では東・東北圏域の通いの場を紹介予定です。



地域支え合い推進員



図 地域福祉課 ☎072-838-0400

和光校区福祉委員会 活動紹介

Vol.43

和光校区福祉委員会では、「地域の子どもは地域で育てる」という思いのもと、「家庭×学校×地域」の連携を大切にして活動を行っています。

和光校区福祉委員会は昭和60年の創立から令和7年度で40周年を迎えました。これまでの多岐にわたる活動の中で、今回は下記の取り組みを紹介いたします。



みんなでのしく過去40年の取り組みを話し合っています。

子育てサロン「和っこ」

就学前の親子を対象に夏祭りやクリスマス会などの季節に合わせたイベントを実施しています。季節のイベントではたくさんのお菓子をもらい楽しんでいる子どもの姿や、身体測定を通して子どもの成長を見ることが出来ます。また、子どもだけでなく保護者の情報交換や交流の場にもなっています。親子で一緒に行う取り組みもあり、親子ともに楽しい時間を過ごしています。



毎月第3火曜日の10時～11時30分に開催しています。

和光まちかどふくし相談所

地域のまちかど福祉相談員と専門職が福祉に関する相談から日常の相談まで幅広くお聴きしています。日常の立ち話のような感覚で話ができるため、みなさん気軽に話し帰られています。和光小学校区以外の場所から相談に来る人もいます。



毎週水曜日の10時～12時に開所しています。

和光校区福祉委員会「子ども食堂」

小学校低学年から高学年まで多くの子どもが参加しています。食事は和え物や煮物といった子どもが食べる機会の少ないメニューを手作りで提供しています。子どもからは「おいしい!!」や「おかわり!!」といったうれしい声が聞かれます。

子ども食堂に来ることで地域のひととの関係を築くことができるため、案内は学校の協力を得て全校児童に届けています。

スタッフには保護者などの若い人が参加しています。スタッフの一人は「地域の子どもは地域で育てる」思いで参加しています。」と話していました。和光校区福祉委員会はこうした広がりをより大きくしていきたい思いで取り組んでいます。



毎月第4土曜日の12時～14時に開催しています。

図 地域福祉課 ☎072-838-0400

各種表彰

おめでとうございます

厚生労働大臣表彰

団体

大阪高齢者生活協同組合
北河内センター

個人

やまだ えいじ
山田 英二さん

大阪府社会福祉協議会会長表彰

池田校区福祉委員会・南校区福祉委員会

長年にわたる地域福祉活動やボランティア活動の功績に対して表彰されました。

善意銀行だより

あたたかいご寄付をありがとうございました

(令和7年10月1日～12月31日) 敬称略

現金の部

預託者氏名
寝屋川中央ライオンズクラブ 同志社香里中学校・高等学校 朗読ボランティアにじの会 だんだん一同 匿名 4件

一般寄付金への寄付金合計は
140,500円でした。
善意銀行の指定寄附金合計は
1,090,000円でした。

市民のみなさまから寄せられた善意のお金や物品をお預かりし、必要としている個人や福祉関係機関・団体などに払い出しをする取り組みです。

「寄付金を活用してほしい」「物品を寄付したい」などございましたら下記までご連絡ください。

<お願い>お受けできる物品は、新品(相当)のものに限ります。ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

☎ 生活支援課 ☎072-812-2040

物品の部

預託者氏名	品名
寝屋川市フードドライブ (環境総務課)	乾麺、長期保存米、缶詰、レトルト食品 飲料、加工食品
打上保育園	精米、缶詰、レトルト食品、加工食品
すばる・北斗福祉作業所	精米
亀井 和美	車いす
有限会社にし尾	精米
隆光学園	長期保存米、缶詰、レトルト食品 加工食品
ロイヤルライフ・天寿苑	缶詰、レトルト食品、加工食品
さんすまいる	長期保存米
きんもくせい保育園	精米、乾麺、加工食品
和の里	乾麺、缶詰、飲料、加工食品
千成ヤフルト販売株式会社	加工食品
匿名 5件	手押し車、加工食品、介護用品、 長期保存米、缶詰

献血だより

400ml献血にご協力ください

～献血は命をつなぐことのできるボランティアです～



あなたの善意の献血で多くの命を救うことができます。全国的に血液が不足している状況の中、一人でも多くの方に献血のご協力をお願いします。

献血当日は地域の校区福祉委員会および関係機関・団体がお手伝いしています。都合により、日時・場所が変更される場合があります。



日程	受付時間	実施場所
2月14日(土)	10時～16時30分(休:12時～13時)	ビバモール寝屋川
2月18日(水)	10時～16時30分(休:12時～13時)	アル・プラザ香里園
2月20日(金)	10時～16時30分(休:12時～13時)	京阪寝屋川市駅東口前

☎ 北大阪赤十字血液センター ☎072-632-4747

ボランティア デビューのすゝめ

～シニアの皆さん!ボランティアグループと交流しませんか～

ボランティア活動に参加することで、新たな仲間づくりや生きがいづくりにつながります。実際に活動しているボランティアグループとの交流や活動体験を通じて、「ボランティアデビュー」をしてみませんか。

日時	3月16日(月)13時30分から16時
場所	保健福祉センター5階 多目的室・研修室5
内容	ボランティアグループとの交流、ボランティア活動紹介、ボランティア活動体験
対象	概ね60歳以上の市民
定員	30人
申込	2月2日(月)から電話、QRコードからの申込

☎ 地域福祉課 ☎072-838-0400

自立に向けたお手伝いをします

～生活困窮者自立支援事業～

生活困窮者自立支援事業は、「生活費に困っている」、「人との関わりに不安がある」等のさまざまな課題を抱えている人からの相談を受け止めて、自立に向けてどのような支援が必要かを一緒に考えて取り組む事業です。

自立するためには

- ①自己決定(どのように生きるのかを自ら決める)
 - ②自己選択(進んでいく方向を自ら選ぶ)
- が極めて重要になります。

相談者が一人ひとり自立していけるよう、一緒に考えサポートしていきます。

仕事が見つからない、住むところなくなる、相談できる人がいないなど、まずは不安なことや困っていること、悩んでいることを、本会にご相談ください。



☎ 生活支援課 ☎072-812-2040

あなたの生活をサポートします

～日常生活自立支援事業～

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障害や精神障害により判断能力に不安がある人を対象に、福祉サービスの利用援助や日常生活の金銭管理のお手伝いをして、地域で安定した生活を送れるようサポートする事業です。

サービスの内容

- ・福祉サービスの利用に関する情報提供や相談を行います。
- ・預貯金の出し入れを行い、家賃、光熱費、日用品などの支払いを手伝います。
- ・通帳や年金証書などを貸金庫で預かります。

利用するためには、本人と寝屋川市社会福祉協議会が契約を結ぶ必要があります。「お金を計画的に使うことが難しくなってきた」「通帳をどこに置いたか忘れてしまう」「福祉サービスを使いたいけど方法が分からない」など心配ごとがあれば、ぜひご相談ください。



☎ 生活支援課 ☎072-838-0199